

特記仕様書

受注者は、下記の要件をすべて満たすこと。

○仕様詳細

1. レーザー光源

- 1-1 蛍光に対応可能な研究用電動倒立顕微鏡本体であること。
- 1-2 光源は白色レーザー光源であること。
- 1-3 405nm レーザーを搭載していること。
- 1-4 励起波長は 440～790nm の範囲で、連続可変可能なこと。または 1nm ステップで任意の波長が選択できること。
- 1-5 最大 8 色まで、異なる波長の励起光を同時に使用できること。
- 1-6 透過観察用光源および落射蛍光観察用光源は LED 光源であること。

2. 光学系

- 2-1 蛍光寿命を用いた分光が可能であること。
- 2-2 高速スキャンモードでの画像ローテーションが可能である
- 2-3 顕微鏡光学系は、無限遠光学設計を基本とした HC 光学系であること。
- 2-4 対物レンズは 10x ドライ、および 63x 油浸を備えていること。
- 2-5 接眼レンズは 10x を 2 つ備え、視野数は 25 mm 以上であること。
- 2-6 透過用コンデンサーは、作動距離 28mm かつ NA0.55 以上の性能を有すること。
- 2-7 ガルバノ制御されている電動 Z ステージを備えていること。
- 2-8 共焦点方式はシングルポイント走査方式であること。
- 2-9 レーザー光の XY 走査は、スキャンによる収差を防ぎ均一な照明を得るため、ガルバノ制御ミラー 3 個によって行われていること。
- 2-10 共焦点ピンホールはシングル共焦点ピンホール方式とし、対物レンズの選択に連動して自動調整されること。
- 2-11 最大スキャン画素数はソフト処理無しで 8192 x 8192 画素以上であること。
- 2-12 レゾナントスキャナによる高速スキャンモードを備えており、ライン周波数は 8KHz 以上であること。
- 2-13 スキャン視野数は 21mm 以上であること。
- 2-14 スキャンズーム倍率は 0.75～48 倍の範囲で可変できること。
- 2-15 スキャンフィールドのローテーション機能を有すること。

3. 検出器

- 3-1 量子効率 50%以上の検出器を搭載していること
- 3-2 蛍光分光方式はプリズム分光方式で、最大 5 チャンネルまで対応であること。
- 3-3 蛍光検出波長の選択はスリット方式による連続可変とし、410nm から 850nm で選択可能であること
- 3-4 共焦点用検出器を 5 基以上搭載していること。
- 3-5 透過光用検出器を 1 基以上搭載していること。

4. 周辺装置等

- 4-1 顕微鏡用防振テーブル、PC テーブルを備えていること。
- 4-2 制御ワークステーションの OS は Microsoft 社製 Windows10 pro であること。
- 4-3 メモリーは 192GB 以上の容量を有すること。
- 4-4 HDD は 6TB 以上の容量を有すること。
- 4-5 SSD は 2TB 以上の容量を有すること。
- 4-6 キーボード、マウスを各 1 台有すること
- 4-7 3840x1600 以上の解像度を有する対角 37 型以上の液晶ディスプレイを 1 台有すること。
- 4-8 操作パネルボックスを有し、画像取得時の検出器のゲイン、スキャンローテーション角度、ズーム倍率、フォーカスを、ダイヤルを直接手で回転する機構により設定可能であること。また、ダイヤル毎に設定値をそれぞれ表示する LCD 機能を有すること。
- 4-9 デコンボリューション機能を有すること。

5. その他

サービスの拠点が東京都内または近郊にあること。

以上